

第3回定例会 一般質問 区政をただす

通勤定期代1カ月から 6カ月で約6千万削減

公明党議員団 斉藤 高輝

①交通機関を利用して通勤している職員数および、支給額は。②1カ月定期を6カ月定期に切り替えた場合の財政削減効果は。③財政削減に対する区長の所見を問う。

区長 ①平成14年度は2416人、支給額は年間4億2652万円。②一人あたり約2万円、全体で年間5930万円の削減効果がある。③通勤手当は特別区人事委員会

で決定することであり、1区単独での判断は難しいが、改善を主張していきたい。

中野駅周辺整備の 財源対策について

①清掃工場の建設が中止となった警察大学校等跡地の土地利用計画の前提となる財源は。②今年度末に計画素案を策定した後の事業スケジュールはどのようになっているか。

区長 ①財源としては、開発者負担金、国・都などの補助金、起債など、選択する事業手法によりさまざま考えられる。②区民の意見を反映し、計画案をまとめ、関係機

関と調整のうえで事業の早期

実現を目指す。

一人暮らし高齢者の 安否確認対策について

区は一人暮らし高齢者の安否確認が可能なシステムの導入について、どのような取り組みを考えているのか。

区長 対象者を把握し、日常的に見守る協力員・機関を募り、異状に気付く仕組みづくりを今年度から着手する。また、早期対応ができる連絡網も整備していく。

増加する犯罪に対して 地域との連携の強化を

①防犯意識の啓発と環境整備の取り組みは。②地域の防犯ボランティアによるパトロールの育成や支援、また、被害を未然に防止するための「スーパー防犯灯」を設置する考えはないか。

区長 ①関係団体や地域に情報提供するとともに、警察署にパトロール強化を要請する。②犯罪抑止に意義があると考えており、地域特性を踏まえた実効性のある防犯への取り組みをしていきたい。

がん検診について

区民の要望が多い前立腺がん検診を実施してはどうか。

区長 検査の有効性を検証し、引き続き検討したい。

区民に直接かわる 具体的な施策の展開を

自由民主党・民社クラブ 伊藤 正信

区長は、組織改革、職員の意識改革など内部改革に力を入れていますが、区民に直接かわる具体的な施策や財政再建策は、いまだに示されない。どう考えているのか。

区長 今年度は、少子社会対応、産業活性化、環境問題などに重点的に取り組んでおり、区民周知にも努める。

サンプラザ取得について

①サンプラザは、区財政が厳しい状況にある中で、区民と経営改善の努力がなければ、十分可能と考える。

③運営事業者には、将来のまちづくりでも役割を期待しており、プロポーザル方式で公募する。



ごみ集積場所を荒らすカラス

①区長会では、一般廃棄物の中間処理について、



スーパー防犯灯 (練馬区内)

新たな清掃工場は必要ない、施設整備計画を見直す、今後のあり方は改めて協議する、という内容の決定をした。区長はどう考えるか。②カラス対策を取り上げたテレビ番組に、本町4丁目の宮里町会の方々が出演され、地域の皆さんの相当な努力で状況が改善された。清掃事業においては、区と地域が一体となって取り組むことが課題ではないか。

必要がある、将来の清掃事業のあり方を追及する。②ごみ減量のためには、多くの区民の参加と協力が欠かせない。本町4丁目の施設整備計画 行財政5か年計画では、デ

区長 ①相談センターや図書室などは国の事業として継続しないと聞いている。また国の方針、これまでの協議経過から、無償譲渡の可能性はない。②予備的調査により、民間のノウハウ、経営努力などで十分黒字の施設であると

政負担が必要となり、事業期間の長期化が避けられない。区民が望むのは一日も早い渋滞解消であって、まちづくり再開発ではない。連続立体交差化事業は都市交通の円滑化などを図るもので、沿線まちづくりを義務化してはいない。立体化のみを早期に提案し、進めるべきではないか。

都の「財政再建推進プラン」 策定中止を求めよ

日本共産党議員団 池田 一雄

東京都が10月に策定予定の「第二次財政再建推進プラン」は、私学助成、区への補助金などを削減し、区民の暮らしや区財政に大きな影響を与えることが明らかである。東京都に対し、策定中止の働きかけや区長会への意見具申など、区長の多面的な努力が必要と思うがどうか。

区長 区長会として区へ

中野サンプラザ買収の 再検討を

①見通しのない買収には賛成できない。どうしても

取得するのなら、勤労青年へのさまざまな事業を継続することを前提に、厚生労働省に贈与の申し入れをすべきだ。②10年間の運営に対して、区の見方は極めて楽観的である。赤字を出しても、100億で売れば何とか



西武新宿線鷺ノ宮駅踏切

と考えているのではな

将来を見据えた構造改革を

TOKYO自民党中野区議団 斉藤 金造

中野のまちは、経済成長により宅地化が進展したが、真に緑豊かな住環境には程遠い。今こそ区は、区民が個々の力を合わせるべく、調整力を発揮すべきだ。①区長は職員を積極的に地域に出し、区民と

質の高い効率的な財政運営を

財政の硬直化が進み、予算額の収入確保が難しいなど、非常に逼迫した状況だ。①民間活力導入を打ち出しているが、どのようなサービスが提供できるのか。②民営化で、行政では解決困難な課題が、

区長 ①職員には、区民の声をよく聞き、ともに考えることの重要性を、機会をと